

令和 6 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

1. 施設の概要

施設名	白杖園	所管課	障がい福祉課
所在地	岐阜市京町1丁目64番地		
指定管理者名	一般社団法人 岐阜県視覚障害者福祉協会		
指定期間	令和4年4月1日から令和 9年3月31日まで		
選定方法	☐ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	9,494,120円		
施設の設置目的	あんま師、はり師又はきゅう師の免許を有する視覚障がい者の自立更生を図る		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 2階建のうち1階及び木造2階建 ◇敷地面積:342.80㎡ ◇延床面積:234.70㎡◇施設内容:治療室、施術者控室、事務室		

2. 利用状況

		令和6年上半期	令和5年下半期	令和5年上半期	令和4年下半期	令和4年上半期
利用者数(単位:人)		840	635	600	566	530
各室稼働状況(人)	施術者控室(通所者数)	368	291	286	302	349
	治療室(受療者数)	472	344	314	264	181

3. 業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市盲人ホーム条例規則に従い厳守した。 ②園長1名・指導員2名・職員1名・パート1名・運営委員4名で運営 ③ホームページ・看板・広告・チラシ ④苦情はありませんでした。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②夜間警備業務 ③非常通報装置保守点検 ④利用者用駐車場の管理 ⑤光熱水費の支払	①日常的な清掃は職員が毎日行っている。 ②警備会社へ委託 ③非常火災通報装置保守点検(毎日)を委託している。 ④3台分(予備1台分)を確保している。 ⑤利用者のサービスの低下にならない範囲で節約した。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①治療者の使用するトイレの壁が剥がれてきたため職員が修繕した。また、電気コードカバーも職員が付け替えた。 ②施術の勉強のため大広間に木製ベットを設置した。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①職員・受療者・通所者の個人情報の保護に努めている。 ②緊急連絡網を作成し、職員・通所者に周知している。 7月22日に、白杖園・友楽園との合同防災訓練を行い、防災に対する意識を高めた。 コロナ・インフルエンザ対策として空気清浄機・消毒液・マスク・体温計を常備した。AEDも完備している。 ③岐阜市盲人ホーム白杖園条例・あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師等に関する法律及び規則を遵守している。

4. 利用者評価

利用者アンケートの実施状況	8月20日～9月20日までの1ヶ月間 65 人のアンケートを実施した
利用者アンケートの実施結果	アンケート回答総数 65人(男性32人、女性33人) 【年齢】20代3人、40代4人、50代19人、60代14人、70代12人、80代13人 【来園方法】自動車35人、自転車8人、徒歩17人、その他5人 【職員の対応】良い65人 【施術の評価】満足64人、やや満足1人、やや不満0人、不満0人 【利用者からのコメント】 ・施術室が綺麗に整理されている。 ・施設は古いが清潔に保たれている。 ・技術・サービス共に大変満足しています。 ・やっと自分に合う施術に巡り合えました。 ・いつも色々とお難う。 ・気持ちよくマッサージむしてもらっています。 ・いつも有難いです。
利用者からの要望・苦情と対処・改善	なし

5. 指定管理者の選 基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・運営委員会を開催し、利用者のニーズを把握する。	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・ホームページを公開する。 ・チラシ配布や看板の設置	A	A	A
		区分評価				
効果性	事業計画書 の内容が、 対象施設の 効用(設置 目的)を最大 限発揮する ものである こと	既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	・地域の関係機関を通じて、施設を施術者研修の場として利用してもらえよう取り組む。	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートを実施し、要望を把握する。	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・接遇に関して、電話での応対等明朗であることを心がける。 ・施術者に適切な施術とコミュニケーション指導を行う。	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・地域の関係機関を通じて、施設を周知し、利用者の掘り起こしに努める。	S	S	S
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者へのアンケート実施し、特に苦情や要望があった内容については改善を図る。	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・国家資格を有するの指導員を1名以上配置する。	A	A	A
		区分評価				
		A				

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	収支計画の妥当性	・収支計画に沿った運営。	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・光熱水費縮減のため、サービス低下につながらないように配慮しながら、節電・節水をする。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	・管理責任者を配置する。 ・指導員1名以上を配置する。	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	経営基盤の安定性	・民事再生法や破産法に基づく再生／破産手続き開始の申立てをしていない。 ・法人市税等の滞納がない。	A	A	A
		組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・国家資格を有する指導員の配置	S	S	S
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・管理責任者を配置する。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・研修会に参加し、他施設と意見交換することにより指導技術を高める。	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・非常時対応マニュアルに基づいて対応。避難訓練の実施。	A	A	A
		リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	・保険に加入し、賠償責任が問われる事案に対応	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	・岐阜市内に事業所を構える業者を一部業務の再委託先にする。	A	A	A
		地元での資材等の調達	・地元の業者で調達する。	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地域の防災運動会等への参加	A	A	A
		その他地元への貢献に関すること	・施設周辺の清掃。 ・年に一度、無料奉仕を行う。	A	A	A
		区分評価				A

6. 指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	・盲学校、関係する団体(アソシア)、過去の退園者に通所者を掘りおこす努力を行ない1名施術者が増えた。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	・施術者は受療者に対して主症を把握しカルテを作成し、鍵のかかる場所に保管した。適切に施術できるよう技術向上のために週1回程度元盲学校の教諭に技術指導を依頼し、園長も技術指導を行った。また、引き続きコロナ感染対策・熱中症予防を行った。

今後の取組み

・技術向上をはかり早期自立できるように指導していきたい。

7. 所管課の意見

利用者数について、通所者数及び受療者数ともに大きく増加している。新型コロナウイルス感染症の5類への移行の影響もあるとは考えられるが、通所者の掘り起こしや技術力向上など管理運営の努力は評価できる。引き続き、コロナ禍前の利用者数を目指し、取り組みを進めてもらいたい。

受療者を対象としたアンケートにおいても、利用者満足度は高く、特に苦情もみられない。今後も、利用者満足度の向上に取り組まれない。

8. 指定管理者評価委員会の意見

所管課の意見のとおり、適切に管理運営されている。